

## 第270回病院薬学研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2015年4月16日(木) 19:00～20:30

開催場所： ソニックシティ 国際会議室

講演1: 「ボノプラザンの創薬と作用の特長」

元武田薬品(株) 医薬研究本部 稲富 信博 先生

講演2: 「酸関連疾患の臨床課題と新規酸分泌抑制薬P-CABへの期待」

自治医科大学附属さいたま医療センター

消化器科 准教授 宮谷 博幸 先生

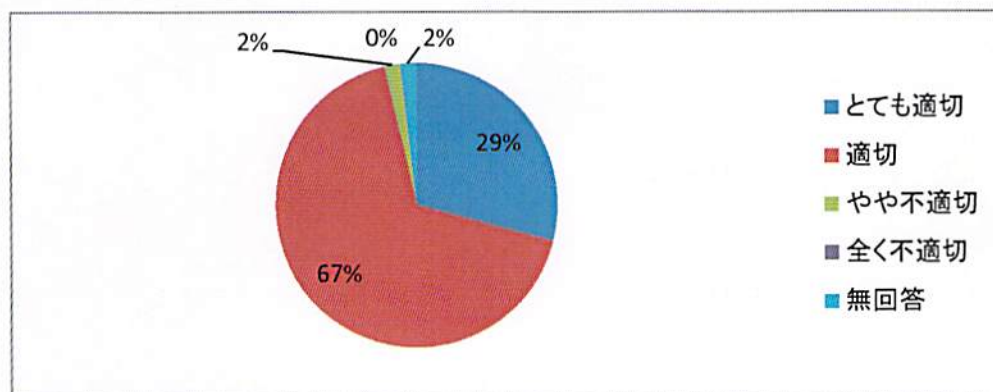
総合評点
3.3
(4件尺度)

	研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
大宮	49	47	96%	9
川越	8	8	100%	2
獨協	24	24	100%	4
国際	15	15	100%	9
川口	13	13	100%	2
栗橋	3	3	100%	1
合計	112	110	98%	27

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

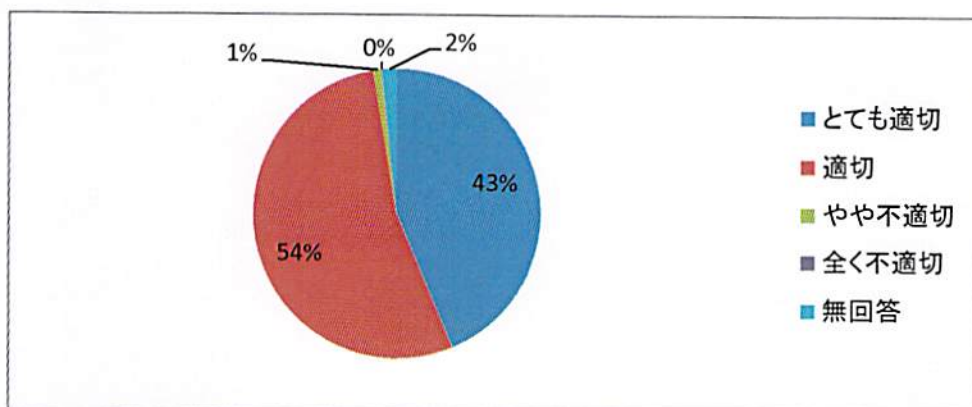
### 1. 講演テーマについて

1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
大宮	17	28	0	0	2	3.4
川越	3	5	0	0	0	3.4
獨協	3	19	2	0	0	3
国際	4	11	0	0	0	3.3
川口	3	10	0	0	0	3.2
栗橋	2	1	0	0	0	3.7
合計	32	74	2	0	2	3.3

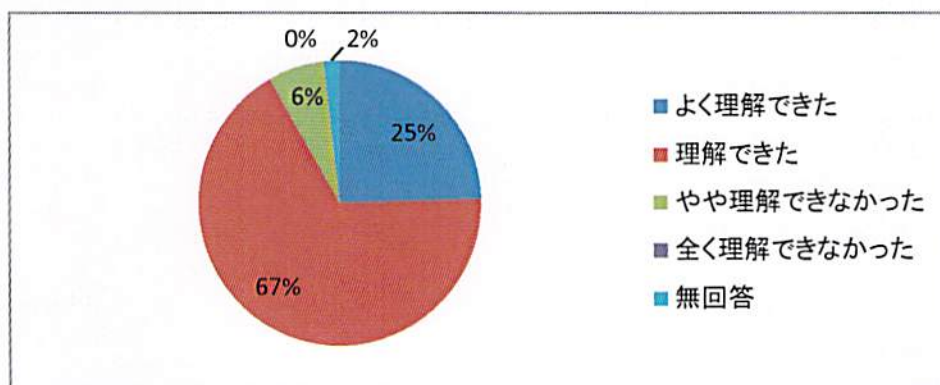


1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
大宮	25	19	1	0	2	3.5
川越	3	5	0	0	0	3.4
獨協	6	18	0	0	0	3.3
国際	5	10	0	0	0	3.3

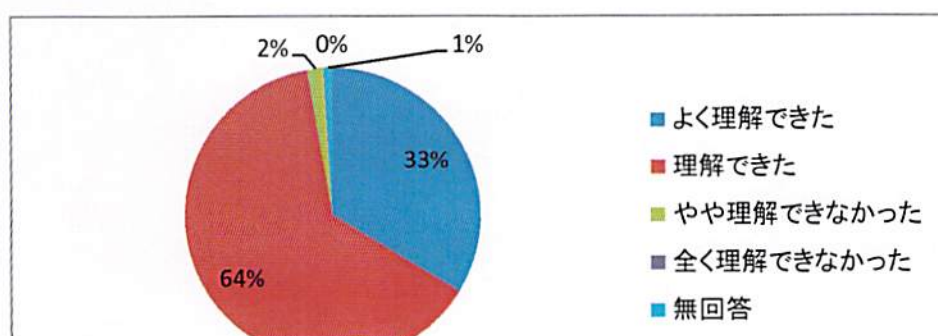
川口	7	6	0	0	0	3.5
栗橋	2	1	0	0	0	3.7
合計	48	59	1	0	2	3.5



2-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
大宮	13	30	2	0	2	3.2
川越	3	5	0	0	0	3.4
獨協	2	20	2	0	0	3
国際	5	9	1	0	0	3.3
川口	3	8	2	0	0	3.1
栗橋	1	2	0	0	0	3.3
合計	27	74	7	0	2	3.2

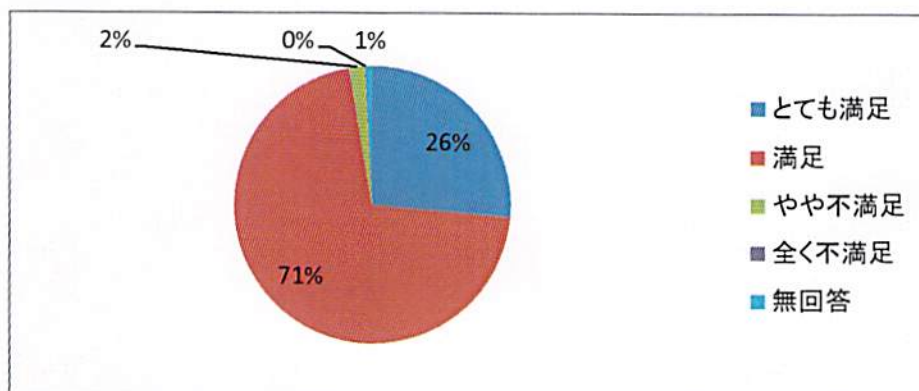


2-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
大宮	19	27	0	0	1	3.4
川越	2	6	0	0	0	3.3
獨協	3	20	1	0	0	3.1
国際	8	7	0	0	0	3.5
川口	4	8	1	0	0	3.2
栗橋	1	2	0	0	0	3.3
合計	37	70	2	0	1	3.3



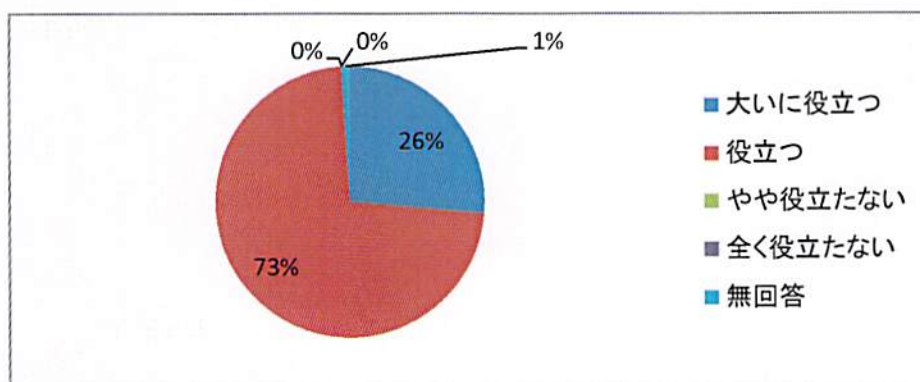
### 3. 本研修会の印象について

3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
大宮	14	31	1	0	1	3.3
川越	3	4	1	0	0	3.3
獨協	1	23	0	0	0	3
国際	6	9	0	0	0	3.4
川口	4	9	0	0	0	3.3
栗橋	1	2	0	0	0	3.3
合計	29	78	2	0	1	3.3



### 4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
大宮	17	29	0	0	1	3.4
川越	1	7	0	0	0	3.1
獨協	3	21	0	0	0	3.1
国際	3	12	0	0	0	3.2
川口	4	9	0	0	0	3.3
栗橋	1	2	0	0	0	3.3
合計	29	80	0	0	1	3.2



## 意見の記載 (27枚)

### 1. 講演テーマについて

1-①<川越>	タイムリーな話題であった	1
<国際>	創薬も含めて分かりやすかった	1
1-②<川越>	今後に期待される薬剤であるためとても適切	1
2-①<大宮>	説明が分かりやすかった	1
<川口>	サテライトだったがポインターを使って説明してくれると、どの部分を説明しているのか分かりやすい	1
2-②<大宮>	疾患をもった患者さんの写真も見れてよかった	1

### 3. 本研修会の印象について

＜大宮＞	スライドの文字が見づらかった	1
＜国際＞	消化器分野を勉強したかったのでよかった	1
4. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか		
＜大宮＞	PPIの特徴がより詳しく分かった	1
5. 今後取り上げてほしいテーマ		
	がん	1
	感染症	1
	糖尿病	1
	脳卒中	1
	泌尿器疾患	1
	循環器疾患	1
	肝炎治療	1
	抗菌薬	2
	鎮痛薬	1
	透析患者で注意する薬	1
	ARB	1
	抗うつ薬	1
	抗不安薬	1
	C型肝炎の新薬	1
	在宅医療	1
	換算（ステロイド、オピオイド等）	1
6. 本研修会で気づいたこと、感想、質問		
＜大宮＞	従来型PPIとP-CABの違いがよく分かった	1
	PPIやHP除菌の問題点がよく理解できた。またPPIの服薬のタイミングについては、これから夕食前にしていただくように試してみたいと思う	1
	GARDに対して治療や診断の症例も示してくれたので分かりやすかった	1
	カリウムイオンと競合的にブロックするタケキャブとカリウム製剤を同時に内服した場合は効果に影響は？また胃酸を強く抑制することで感染のリスクは？	1
	PPIに記載されているMTXとの相互作用はタケキャブでは気にしなくてもいいのか？	1
	P-CABのほうがPPIより除菌率が高かった。酸抑制作用がP-CABの方がよりすぐれていることで、アモキシシリン、クラリスロマイシンの薬効が上がるためと聞いたが、H. Pyloriはウレアーゼ活性などで胃内pHを上昇させ菌の増殖をさせている。P-CABによって酸を抑制すると、よりPyloriの増殖しやすい胃内環境になってしまうのではないか？	1
	資料があるとよかった	1
	参加費1000円は安いと思う	1
＜国際＞	非常に為になった研修会だった	1
	新米薬剤師にとってはとても勉強となる話だった	1
	疾患や薬についてよく勉強できた	1
	新薬については勉強するのが難しいので、とても勉強になった	1
	P-CABについて詳しく学ぶ機会があまりなかったので勉強になった。PPIとの違いもよく分かった	1
	逆流性食道炎についてあまり知らなかったなので、治療についていろいろ知ることができてよかった	1
	図解の説明の時にポインターを使用していたら、より分かりやすかったと思う	1
	ボノプラザンの効果はPPIの欠点を改善しており、今後病院内で浸透していく事に期待したいと思う。Pka9.3で陽電荷となり膜透過性が低下することで滞留性が持続するという事だったが、膜を透過しなければ吸収されず、血中濃度が上昇していかず効果があがっていかないのではないかと膜透過性は薬用量の何%くらいか知れたかった	1

<獨協>	大変参考になった	1
<川越>	講演2でPPIは食事の30分前から60分前がよいとのことだが、タケ キャブも同じと考えてよいのか？	1
<川口>	講演の資料があるとよかった	1